

## 令和8年度事業計画および収支予算について

### 令和8年度事業計画書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

#### 【1】外国人私費留学生に対する奨学金支給事業(公1)

##### 1. 奨学金支給費

計 27,000千円

令和8年度奨学生数は合計30名とする

- (1) 日本の大学で学ぶ留学生大学院学生のうち13名を募集採択し、継続者2名とあわせて15名に対し、継続者、延長者および新規採用者について1人月額10万円の奨学金を支給する。
- (2) 日本の大学で学ぶ留学生学部生のうち13名を募集採択し、継続者と合わせ15名に対し、新規採用者について1人月額5万円、継続者、延長者および新規採用者については月10万円(令和8年9月まで)の奨学金を支給する。

##### 2. 奨学生指導費

計 13,800千円

###### (1) 交流会活動

年2回～3回程度、交流会を開催し、奨学生同士及び財団との交流を深める。

###### ① 交流会(国内研修旅行) 令8年7月～9月開催予定

日本の文化や地域などに対する理解を深める機会をつくり、また奨学生どうしの交流を一層深める。

令和7年度は鳥取県及び島根県を訪問し鳥取砂丘、足立美術館、出雲大社を訪問。

###### ② 交流会(未定) 令和8年11月～12月開催予定

東京またはその近隣において、交流会を開催する。内容は未定。

###### ③ 交流会(令和7年度卒業式及び令和8年度贈呈式)

令和9年3月開催予定

奨学金支給を終える奨学生および最終学年の奨学生に対して今後の成功を祈り激励する。

また、新たに採用された奨学生に対して奨学金目録贈呈を行い激励する。

(2) 会報誌「竜の子奨学生」の制作

交流会を中心とする財団の活動内容を記録し、さらにその内容を対外的に広めるために会報誌を、半年に1回制作する。

なお、制作にあたっては奨学生の中から編集委員を任命し、企画を進めていくこととする。

(3) 個別面談

奨学生の通学する大学を訪問し全員と個別面談を実施。

学業や生活上の悩みなどの相談を受け付け、奨学生に対してアドバイスをを行う。

(4) 広報活動

財団の活動内容を幅広く一般に知らせるために、ホームページ、広告掲載などを活用。

**3. その他目的を達成するために必要な事業費 計 40千円**

奨学金支給事業のための選考委員会開催、募集要項、申請書の印刷費等の費用

**【2】 児童福祉関連の充実あるいは向上に取り組む事業、団体への助成事業(公2(旧公3))**

※休止予定

**1. 児童福祉関連の充実あるいは向上に取り組む各種事業、団体等の活動への支援を行う。 計 0円**

児童福祉の現場の実態に即し、実効性の高い活動にするため、国内外の活動事例の情報収集を行い、各団体と情報交換を行いながら、支援を行っていく。

以上の合計 41,200千円